

多職種連携マガジン

☆日本医師会「超高齢社会におけるかかりつけ医のための適正処方の手引き」

今般、久々に第5弾「高血圧」が出されました。コピー希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。

- 1 安全な薬物療法→多剤併用の問題点、慎重な投与を要する薬物、服薬管理など。
- 2 認知症→現状と治療総論、中核症状やBPSDに対する薬物療法、薬剤使用の注意点など。
- 3 糖尿病→現状と治療総論、高齢者糖尿病の現状・治療・薬物療法、薬剤使用の注意点など。
- 4 脂質異常症→現状と治療総論、動脈硬化性疾患の検査方法、高齢者の薬物療法など。
- 5 高血圧→現状と治療総論、高齢者高血圧の診断・薬物治療、治療抵抗性高血圧への対処など。

☆日本医師会「健康ぶらざ」No.551 <注射の痛みを和らげる工夫>

予防接種における注射の痛みを和らげる様々な工夫が紹介されています。接種前は、部位を冷やす、押さえる、接種中は気をそらすなどです。注射の痛みの感じ方には個人差がありますが、「受ける理由を納得して心構えができていると、不安や恐怖を感じにくくなり、痛みにも立ち向かえる」と書かれています。

☆MCS(メディカルケアステーション)における「れんけいかフェグループ」

令和2年9月10日(木)より、MCSによる情報提供等が行われています。MCSへの加入を募っています。なお、加入方法の問合せ等は、河内長野市医師会地域連携室迄ご連絡下さい。

☆「バリアフリー・慢性期医療展・看護未来展・在宅医療展 2022」(於・インテックス大阪)

リアル展示会は6月8日(水)～10日(金)、オンライン展示会は5月16日(月)～7月29日(金)に、夫々開催されます。併せて、防犯防災総合展2022等も同時開催されます。

☆「医療と介護の総合展(メディカル・ジャパン)大阪」(於・インテックス大阪) 特別協力:関西広域連合

2月24日(木)～26日(土)に開催されました。医療、介護、感染対策の製品等の展示がありました。

☆大阪府警察本部相談窓口:警察への意見や安全に関する相談: #9110、覚醒剤110番:06-69

43-7957、ストーカー110番:06-6937-2110、暴力団・けん銃110番:06-6941-1166

☆備えあれば憂いなし! <「サギに備えて」と「事故とサギに備えて」(警察関係)も出しました>

「新型コロナウイルスに備えて」はコロナ対策の一環として、国等から、様々なチラシ・ホームページ記事等が発出されております。その中で、特にトピックス的なものを集め、まとめてみました。本冊子は1～20、データ編1～3とあります。上記冊子希望の場合は、河内長野市医師会地域連携室迄ご連絡下さい。

☆河内長野市地域ケア会議 <いずれも、コロナ禍のため中止(書面開催)となりました>

- 認知症施策検討委員会兼認知症初期集中支援チーム検討委員会(書面報告):河内長野市における認知症施策の状況報告、おれんじチームの活動報告のまとめ(令和2年度)がありました。
- ブルーカードシステム推進委員会(書面報告):河内長野市ブルーカードシステムの稼働状況報告があるとともに、運用ハンドブック(第2版)と「ブルーカード・ニュース」の提示がありました。

◇ **医師のつぶやき 8** : 石倉保彦 先生 (石倉医院・河内長野市緑ヶ丘中町8-6)

多職種連携 ～職種を表示～:職場の人間にとっては、メンバーの一人一人は職種も立場も多くはわかっているが、外部の者にとっては、この人は何者か、職種は？職場内での位置は？となる。そんな未知な中での初対面に、ある種のトキメキと新鮮さを感じる。しかしながら、職種のわからないグループや組織の人が、医療・介護・福祉・ケアのリーダーであり、患者・利用者にとっての現在と未来に関わる専門職種であり、その立場を明らかにすることの重要性と安堵感が、大事ではないかと思う。自分の立場(職種)を関係者(患者・利用者を含め)に明らかにする工夫を期待したい。そこにスムーズな**多職種連携**の基礎があるのではないかと思う。

☆ **ヘルプマーク** <援助や配慮が必要な方のためのマークです>

ヘルプマークは、それを見た人に、援助や配慮を必要としている方の支援を促すことを目的としています。裏面にはシールが貼られ、その方の必要な情報が書かれています。ヘルプマークを見かけた時は、席の譲り、声掛け、避難誘導など思いやりのある行動を心掛けましょう。ヘルプマークは、市町村や保健所等で配布されています。



☆ **「れんけいカフェ」・「ミニれんけいカフェ」レビュー！！**

「ミニれんけいカフェ」(会議)のこれまでの開催状況を振り返ってみたいと思います。いずれも、第1回・第2回は、同じ内容のものを4回(10名定員)開催しました。なお、第3回(令和2年12月)～第10回(令和4年2月)までは、資料のみ配布しました(バーチャル開催)。

回数	開催日	参加者数	主な内容 (於・地域連携室会議室)
1	令和2年 8月26日(水)	30名	資料配布、コロナ禍に関する懇談など
2	令和2年10月28日(水)	45名	資料配布、コロナ禍に関する懇談など
3～10	バーチャル	資料のみ配布	

「れんけいカフェ」の開催は、第1回:平成28年10月26日(水)から第21回:令和元年12月25日(水)の21回となっております(のべ788名の参加者)。なお、第22回以降(第24回迄)は、資料のみ配布しました(バーチャル開催)。以上、両カフェの参加者は、のべ863名の多数に上りました。お多端の折のご参加、心より感謝申し上げます。有難うございました。

☆ **ご案内** ～コロナ禍に負けないために！！～

- 大阪府自宅待機者等24時間緊急サポートセンター(自宅待機SOS):0570-055-221(24時間対応)
- 大阪府新型コロナウイルスに関する相談窓口:06-6944-8197(毎日9:00～18:00)
- 河内長野市新型コロナワクチンコールセンター:0721-26-8135(平日9:00～17:30)

☆ **月台後記**(プラットホームこうき)

「人もをし 人も恨めし あぢきなく 世を思ふゆゑに もの思ふ身は」と後鳥羽上皇は源平の争乱そして、その後、色々と思う所がおりやっつたんでしょ。このコロナ禍では、「人もをし」ではなく、不寛容が広がっています。とはいえ、多職種連携でも、やはり「人もをし」は大切に、寛容さを示したいものですね。

監修	☆ 河内長野市地域ケア会議 (事務局:市民保健部高齢福祉課)
発行	☆ 河内長野市医師会地域連携室(まちのれんけい室) <TEL 0721-54-1700・FAX 0721-54-1567>